



世帯数 6,107戸
人口 13,934人
(令和4.5.1現在)

公民館活動アワード 受賞報告

3月23日に寿小学校の市川校長・清水教頭先生を山下学
校応援団長と百瀬公民館長が
訪問し、受賞の報告をしまし
た。



清水教頭・市川校長・山下団長・百瀬公民館長

この賞は、長野県教育委員
会が地域づくりの取り組みに
つながる「公民館の学びの活

動成果」を顕彰するため毎年
実施しています。

令和3年度は、『寿小学校
学校応援団(寿公民館)』を
含め4団体が受賞しました。

表彰は2月26日(土)の「公
民館活動アワード・フォーラ
ム」において行われました。
すべてオンライン会議で開催
され、百瀬公民館長が出席し、
「寿小学校5年生の里山体験
学習」の始まった経緯や財産
区、さと山くらぶ、旧館長会
及び地域の方のご協力によ
り、毎年実施している活動内
容と成果を発表しました。

受賞記念の「賞状と木製盾」
は寿公民館ロビーに掲出して
います。

(※令和3年度に計画してい
た里山体験学習はコロナ感染
拡大防止の観点から中止とな
りました。)

【寿公民館】

令和4年度寿地区 主要事業日程

今年度も地区の皆さんが主
体となつて様々な行事や事業
を計画しています。

コロナ禍のため、事業実施
の際には感染拡大防止の対策
を図りながら、できることを
できる形で地区の皆さんと相
談しながら進めていきます。
各行事の詳細については
「ことぶき公民館なう」等に
てお知らせしていきます。

- 7月3日(日)第75回球技大会
- 9月3日(土)第15回子連れ
コンサート
- 9月14日(水)第11回福祉の
文化祭
- 10月4日(火)ふれあい会食会
- 10月16日(日)スポーツフェス
ティバル(旧住民運動会)
- 10月23日(日)第6回ニュー
スポーツ体験会
- 10月29日(土)第34回史跡
めぐり
- 10月30日(日)防災訓練・避難
所開設訓練
- 11月6日(日)11(金)文化祭
- 1月4日(水)新年祝賀会
- 3月8日(水)地域づくりを
語る会

【寿公民館】

令和4年度寿公民館関係役員・職員紹介

寿公民館運営委員

- 委員長 百瀬 泰雄
- (町会連合会会長・百瀬町会長)
- 副委員長 永田 賢一
- (町内公民館長会長・百瀬公民館長)

会計

- 鈴木 喜朗
- (町会連合会会計・下瀬黒町会長)

委員

- 古屋 章司(赤木町会長)
- 青木 敏和(小池町会長)
- 百瀬 記行(白川町会長)
- 百瀬 寿政(白姫町会長)
- 小澤 隆一(上瀬黒町会長)
- 三島 昇(竹淵町会長)
- 朝比奈忠男(豊町町会長)
- 若林 好生(寿田町町会長)
- 縣 房弘(竹原町町会長)
- 百瀬 一利(寿田川町会長)
- 青木 正彦(赤木公民館長)
- 橋渡 洋一(小池公民館長)
- 長峰 義岳(白川公民館長)
- 古畑 準一(白姫公民館長)
- 多田 金穂(上瀬黒公民館長)
- 宮澤 茂(下瀬黒公民館長)
- 山邊 猛(竹淵公民館長)
- 根本 富雄(豊町公民館長)
- 三好 政明(寿田町公民館長)
- 大木 昇吉(竹原町公民館長)
- 清水 尚孝(寿田川公民館長)
- 塩原 正壽(民生児童委員協議会会長)
- 百瀬 千春(主任児童委員)
- 曾根原紀子(主任児童委員)
- 清水 壽雄(館報編集委員長)
- 林 啓(体育委員長)
- 三村 順子(図書委員長)

佐藤 忠利(視聴覚委員長)

- 中村 孝(健康づくり推進員(会長))
- 百瀬 直子(食生活改善推進協議会会長)
- 青木 定彦(寿スポーツ協合理事長)
- 林 徹二(寿小PTA会長)
- 木下 碧(寿小PTA副会長)
- 宮澤 拓也(寿小PTA副会長)
- 古條 愛(筑摩野中PTA代表)
- 奥原 輝佳(並柳小PTA支部長)
- 岩田 崇志(開成中PTA支部長)
- 山下 治夫(寿子ども会育成会会長)
- 御子柴 宏(寿史談会会長)
- 林 純一(交通安全協会寿支部長)
- 濱 明範(消防一六八分団長)
- 半藤 謙吾(村井・寿交番署長)
- 羽田野千帆(寿地区地域づくりセンター長)
- 福嶋 浩明(寿地区地域づくりセンター長補佐)

館報編集委員

- 関 雅夫(赤木町会)
- 清水 壽雄(小池町会)
- 北澤 敦(百瀬町会)
- 百瀬 清司(白川町会)
- 下田 淳子(白姫町会)
- 橋倉 理恵(上瀬黒町会)
- 大村 健司(下瀬黒町会)
- 上平 貴明(竹淵町会)
- 北條美奈子(豊町町会)
- 林 純一(寿田町町会)
- 水谷 和代(竹原町町会)
- 久保田友之(寿田川町会)

寿公民館

- 公民館長 百瀬 康雄
- 公民館主事 竹村 夕馬
- 生活支援員 古條 愛
- 公民館併任 樋口 真奈

わがまち未来へ

私の住む竹原町では世帯数が年々減少してきています。特に若い世代の方々・子供達の姿を見かけることが少なくなりました。このような状況ではありますが、これからの夢・未来に向かって頑張っている娘の紹介をしたいと思います。

現在、高校三年生の娘は学校の部活動は所属していませんが、通っている学校は美化活動に力を入れており、自分から率先して活動に参加しています。部活動に所属していない分、少しでも学校の活動に貢献することが出来たらと、そのような強い思いがあつての行動の様です。またその他の行事の為の準備も率先して参加しています。



娘が中学校生活の三年間は吹奏楽部に所属していました。仲間や顧問の先生方のお力添えのお陰で、沢山の賞を獲得してきました。娘が担当をしていたパートはトランペットでしたが、高音を求められる事が多いパートでもありました。賞を獲得するまでには、とても辛い時期もあつた様です。学校での毎日の練習はとて厳しく、パート練習では思う様な音を出し出すことが出来ずに

日々自分との葛藤でした。特に「高音を出す」という難題にとても苦勞している様子でした。ただ音が出せればいいのでは無く、課題曲によっては強弱や、柔らかさなども求められる事もありました。

コンクールや大会が近づいてくると、自然に仲間達と顧問の先生方の指導にも気合いが入り、空気もいつもとは違う緊張感になっていました。それと同時に焦りも出始めてしまい難題であつた「高音」も更に思う様に出せなくなつてきていました。学校での練習以外でもプロの方の個人レッスンに通い、家では体力・体幹づくり、発声練習を行い、課題の部分を繰り返して練習したりもしました。それでも上手く音が出せずに悩み、このまま部活を続けていけるのかと毎日自分の自問自答が続く、退部まで考えた事も多々ありました。しかし日々の努力で、音が出せた時の嬉しさや達成感を感じられるようになりました。

その中で、一緒に頑張つてきた仲間達や顧問の先生方の励ましと支えもあり三年間吹奏楽部を頑張れたのだと思います。

『毎日の努力の積み重ねや仲間との励まし支え合い』、そのような経験や努力をこれからの彼女の未来に生かしてもらいたいと思います。

【館報編集委員 水谷 和代】

令和4年度新職員あいさつ よろしくお願ひします

4月から地域づくりセンター、公民館の職員が5名変わりました。住民の皆様には元気をいただきながら新体制で寿地区を支えていきたいと思ひますので何卒よろしくお願ひいたします。



寿地区地域づくりセンター長 羽田野 千帆

寿地区地域づくりセンター長に着任しました羽田野千帆と申します。

令和3年3月に地区独自の地域づくり計画が策定され、今年度は、市の地域づくりセンターの機能強化モデル地区の一つになりました。

計画の実現を目指し、皆様と一緒に重点課題等の解決に努めて参りますので、よろしくお願ひします。



寿地区地域づくりセンター長補佐 福寫 浩明

4月よりセンター長補佐として配属となりました福寫浩明と申します。

寿地区の地域づくりビジョン

「全ての住民が、安心して安全に、いきいき暮らせる、寿らしい住みよい地域の構築」の一助となるよう努めてまいります。



健康づくり課 寿地区担当保健師 森下 知夏

4月より寿地区担当保健師をさせていただいています。森下知夏(ちなつ)と申します。3月までは入山辺地区担当保健師をしておりました。

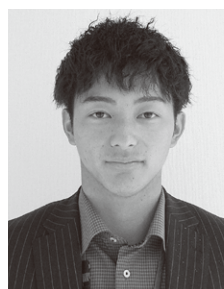
普段は南部保健センターに在席しています。皆様のお役に立てるように努めて参りますので、これからどうぞよろしくお願ひいたします。



寿地区地域づくりセンター 白井 舞

4月より寿地区地域づくり

センターに参りました白井舞と申します。主に窓口業務をしています。出張所業務は初めてですが、地域の皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。



寿公民館 竹村 夕馬

4月より寿公民館に配属となりました。竹村夕馬と申します。また寿地区について知らないことがたくさんありますが、魅力や特色を学び、地域の方々のお力になれるよう精一杯頑張ります。

公民館は初めてなのでご迷惑をお掛けすることもあると思ひますが、よろしくお願ひします。

【寿公民館】